



ふれあい スポーツ

発行
滋賀県障害者スポーツ協会
〒520-0037 大津市御陵町4-1
滋賀県立スポーツ会館内
☎ 077-522-6000
FAX 077-521-8118
Eメールアドレス shigassk@mx.biwa.ne.jp
ホームページ http://www.shigassk.net

第5回全国障害者スポーツ大会



滋賀県選手団の入場行進(開会式・11月5日)

11月5日から7日までの3日間、わたり、「あなたがキラリ☆」のスローガンのもと、第5回全国障害者スポーツ大会(輝いて!おかやま大会)が岡山県陸上競技場II桃太郎スタジアムを中心に開催されました。晴れの国・岡山にふさわしい澄み切った青空のもと、開会式が盛大に行なわれ、全国から集まった約三五〇〇人の選手の熱戦の火蓋が切られました。

今年も11月開催となり、普通なら寒さが心配される時期で、特に雨が降ると寒さに震えながらの大会となる場合も多いのですが、今回は2日目以降終日雨模様だったにもかかわらず、防寒用のベンチコートの出番も少なく、3日目にはまた素晴らしい天気となったことから、全体として非常に暖かい大会となりました。

全国障害者スポーツ大会とゆうあいピックが統合されて、5回目となる全国大会ですが、この間の競技レベルの向上は凄まじく、知的障害者の陸上競技など、障害・種目によっては一般

の大会でも上位を狙える記録・競技力であれば入賞が難しい状況になっており、参加型の大会から競技型の大会に明白にシフトしていることをひしひしと感じる大会となりました。これに伴い、運営側も厳正にルールを適用した結果、昨年にも増して失格になる選手も多くなり、競技大会として成熟していることを考慮すればむしろ当然の結果で好ましく感じました。大会が競技大会として成熟していく中、選手を「競技者」として積極的に強化するため、従来の合同練習会に加え競技ごとの自主練習会にも積極的に取り組んできた滋賀県の選手にとっては、大会の厳しさも実力発揮のチャンスとなり、素晴らしい活躍が目立ちました。陸上競技では監督を中心にコーチ陣がまとまり、担当種目・選手ごとの指導体制のもと、熱心な指導が行なわれました。また、選手もベテラン選手を中心として上手くまとまり、強固な布陣で大会に臨むことができました。



終始独走の強さを見せた昀山選手の5,000m競走

録で優勝するなど各選手の活躍が目立ちました。今回は残念ながら男子四〇〇mリレーの入賞は逃しましたが、各選手とも実力を如何なく発揮し、選手たちの力走に対し惜しみなく降り注がれる声援は大会のフィナーレを飾るにふさわしいものでした。水泳においては清水選手、藤谷選手が大会新記録を樹立する素晴らしい泳ぎを見せた他、選手全員が入賞を果たすことができ、水泳における滋賀県の実力の高さを県外に示しました。さらに卓球では伊藤選手・渡辺選手が他の選手を圧倒し全勝優勝したのをはじめ、フライングアイスでは山口選手が大会記録に迫る素晴らしい記録で優

勝するなど、アーチエリーを含め、選手たちは期待通りの活躍で、この3競技の全選手が入賞を果たしました。しかし、ボウリング競技については昨年に引き続き入賞することが出来ず、あらためて全国レベルの高さを思い知る結果となりました。以上の結果、滋賀県選手団としては、金15、銀12、銅3の合計30個のメダルを獲得することができ、昨年の36個には届かなかったものの、非常に好成績を残すことが出来ました。なお、来年の第6回全国障害者スポーツ大会(のじぎく兵庫大会)は「はばたこう」とともに今から「ひょうごから」というスローガンのもと、平成18年10月14日から16日までの3日間、神戸総合運動公園を中心に開催されます。

平成17年11月5日(7日)
岡山県(岡山市他)

第5回全国障害者スポーツ大会選手代表参加感想文



解団式での1コマ(左:串橋選手・右:青木監督)

忘れられない経験

志賀町 串橋 伸章
 おかやま大会では数多くの初体験をさせて頂きました。

全国大会のような大きな大会に出場したのも生まれて初めてなら、皇太子さまが同じ会場におられるという事も初めての経験です。入場行進の時は緊張のため少し足がもつれて、足並みがそろっていないかのように思います。

アーチエリー会場では練習日にアクシデントがあり、途中で練習中止というハプニングがありました。このような事も初めての経験です。

試合当日は朝から雨が降り、風も出てきて、最悪のコンディションでした。もちろんアーチエリーは野外競技なので、雨でも風でも雷が鳴らないかぎり試合は行なわれるのですが、私にとってはこのような天候の中で試合をするのは初めてのことです。

試合の合間に山形、岩手、名古屋、宮崎など他府県の選手と楽しく談笑し、しかし試合では真剣に戦い、友好を暖めることができました。特に山形の選手とは宿舍が同じということもあり、とても仲良くなり、別れ際に記念品をいただきました。お返しをできなかったことが悔やまれてなりません。忘れられない経験をさせてもらいました。

また何時か何処かの大会で再開できることを願っています。点数の方はあまり満足の結果が得られませんでした。2位という成績を残すことができました。これから益々練習に励み、次こそ1位を取りたいと思います。

最後に、これまで支えてくださった監督やアーチエリークラブの仲間達に感謝とお礼を申し上げます。そしてこれからもよろしく。。。

全国大会に参加して

県立三雲養護学校 柳原 奈月
 今年初めて11月5日〜7日まで岡山県で開かれた全国大会に出場しました。この日を目標に強化練習に参加したり、学校の放課後は先生にスタート練習やタイムをはかってもらったりしました。また家では、足上げや筋トレ、縄跳びをして体を鍛え一年間練習に励んできました。

中学校の時は、陸上をやっていたはずと続けていきたいと思っただけでも養護学校には陸上部がなかったの残念でした。しかし、県大会に参加する事でまた目標が出来ました。

大会までの強化練習は始めは全然知らない人ばかりでしたが、何回か参加するうちにたくさんの方達も出来て練習も楽しくなりました。

大会に出発する前の日は、ドキドキ、ワクワクしました。岡山に着いて、競技場を見に行き

ました。滋賀県の競技場と違って凄く大きくびっくりしました。こんな大きな所で走る事が出来て凄く嬉しかったです。絶対に金メダル取りたいと思いました。私は、この大会に100m走と200m走に挑戦しました。100m走は15秒台のタイムで5位になってしまい、とっても悔しかったです。

翌日の200m走は絶対メダルを取りたいと思いました。結果は31秒台で3位で銅メダルを取る事が出来ました。後もう少しで2位までいけたのに残念でしたが、一つでもメダルが取れた事は、凄く嬉しかったです。やっぱり全国大会に参加する人は凄く速いなあと思いました。まだまだ、自分の実力では金メダルは、遠いなあと思いましたが、また次に挑戦していきたいです。また来年出場出来たら、金メダルを目指して頑張ります。



200m競走での柳原選手

主な国内大会の結果

※滋賀県関係分

▼第9回全日本障害者フライングディスク競技大会

平成17年7月31日(日)
 駒沢オリンピック公園陸上競技場
 ○ディスクダンス競技
 メンズ・スタンディング

- 井上 博基 48 m 50
- 川原崎景一 38 m 81
- 青木 和彦 33 m 79
- 藤井 護 26 m 98
- 藤原 定 18 m 73

レディース・スタンディング

- 1位 山口 幸子 46 m 52
- 4位 岡垣 絵美 39 m 96
- 津田 貞子 15 m 52

○アキュラシー(個人)

- ディスリート5
- 川原崎景一 7枚
- 津田 貞子 7枚
- 山口 幸子 6枚
- 藤原 定 5枚
- ディスリート7
- 青木 和彦 5枚
- 岡垣 絵美 3枚

○アキュラシー(団体)
 井上博基・田淵千恵子 13枚

▼2005年ジャパンパラリンピック水泳競技大会

- 平成17年8月14日(日)
- なみはやドーム(大阪府)
- 女子50m自由形(S14)
- 1位 瀧山三智子 32秒15
- 女子100m自由形(S14)
- 1位 瀧山三智子 1分11秒27

※大会新記録・日本新記録

▼第16回トリアスロン・珠洲大会
 平成17年8月21日(日)
 石川県珠洲市
 Bタイプ
 八八位 川原崎景一
 4時間29分57秒

▼第15回近畿車椅子ツインバスケットボールびわこ大会
 平成17年8月28日(日)
 大津市におの浜ふれあい
 スポーツセンター
 優勝 大阪グッパーズ
 ※ワレロ(滋賀)は二回戦敗退

▼第43回近畿視覚障害者卓球大会

平成17年9月10日(土)〜11日(日)
 大津市におの浜ふれあい
 スポーツセンター
 男子卓球の部
 3位 北川 信治
 女子サウンドテーブルテニスの部
 2位 高田 昌子

▼第22回日本身体障害者水泳選手権大会

平成17年9月17日(土)〜18日(日)
 神戸ポートアイランドスポーツセンタープール
 女子50mバタフライ
 1位 瀧山三智子 37秒78
 女子50m自由形
 1位 瀧山三智子 32秒08

▼2005丹後100kmウルトラマラソン

※日本新記録
 平成17年9月18日(日)
 京都府京丹後市
 100kmの部
 二〇一位 川原崎景一
 13時間29分50秒

第5回全国障害者スポーツ大会 滋賀県代表選手 成績表

平17年11月5日から7日

①:11/5 ②:11/6 ③:11/7 成績・結果

選手名	性別	年齢区分	種目	記録	順位	自己最高	大会記録	備考
2501 山 博 志	男	1部	② 1500m競走	4' 35" 64	1	4' 37" 8	4' 43" 49	大会新、自己新
2502 平 井 正 人	男	1部	② 100m競走	12" 53	1	13" 5	11" 85	自己新
2503 久保川 一 夫	男	2部	① 立幅跳	1m93	2	2m03	2m17	
2505 北 川 一 紀	男	少年	① 800m競走	2' 07" 02	2		2' 02" 15	
2506 戎 井 雅 和	男	少年	② 400m競走	62" 93	4		52" 27	
2507 竹 田 司	男	少年	① ソフトボール投	72m66	1	65m60	75m81	自己新
2508 谷 口 健 次	男	少年	① ソフトボール投	68m31	3	57m37	75m81	自己新
2509 井 高 達 樹	男	青年	① 50m競走	7" 20	2	7" 2	6" 54	
2510 藤 崎 直 人	男	青年	① 800m競走	2' 22" 59	5	2' 33" 1	2' 05" 34	自己新
2511 柳 原 奈 月	女	少年	③ 200m競走	31" 82	3	32" 5	29" 78	自己新
2512 天 野 香 織	女	少年	① 50m競走	9" 58	7		7" 50	
2513 清 水 均	男	2部	② 50m自由形	38" 13	1	39" 67	35" 87	自己新
2514 藤 谷 美 恵	女	2部	② 50m平泳ぎ	51" 11	1	51" 20	58" 98	大会新、自己新
2515 中 村 弥 哉	男	少年	② 25m自由形	16" 35	2	18" 43	13" 48	自己新
2516 小 菅 仁	男	青年	② 25m自由形	14" 73	2	15" 13	13" 53	自己新
2517 串 橋 伸 章	男	2部	② 30mダブルラウンド	576	2	562	640	自己新
2518 伊 東 博 之	男	2部	① 卓 球	2勝0敗	1	—	—	
2519 秋 永 篤	男	青年	② 卓 球	0勝2敗	3	—	—	
2520 渡 辺 裕 子	女	壮年	① 卓 球	3勝0敗	1	—	—	
2521 石 田 香	男	青年	② ボウリング	364 (4ゲーム)	6	228 (2ゲーム)	786 (4ゲーム)	
2522 高 島 裕 介	男	青年	② ボウリング	347 (4ゲーム)	7	208 (2ゲーム)	786 (4ゲーム)	
2523 脇 坂 岩 男	男		② フライングディスク (テイクス) 座位	20m45	5	22m08	46m00	
2524 山 口 幸 子	女		③ フライングディスク (アキュラシー・5)	8枚	1	9枚	10枚	
2525 渡 部 和 也	男		② フライングディスク (テイクス) 立位	47m27	1	40m21	62m04	自己新
2526 佐 藤 充 希	男		③ フライングディスク (アキュラシー・5)	8枚	2	5枚	10枚	
谷口、戎井、北川、藤崎			③ フライングディスク (アキュラシー・7)	4枚	5	8枚	10枚	
谷口、戎井、北川、藤崎			③ 男子4×100mリレー	50" 43	4		46" 66	

	第1日目	第2日目	第3日目	合計	H16年度実績
金	3	9	3	15	17
銀	3	7	2	12	9
銅	1	1	1	3	10

	第1日目	第2日目	第3日目	合計	H16年度実績
大会新記録	0	2	2	4	4
自己新記録	5	12	2	19	27



女子
3位 北川 光男
2位 猪口 久敬
1位 塩田 久敬
○ディスクゴルフ競技
3位 西出登喜子
2位 堀江美津子
1位 山口 幸子
3位 中川喜久馬
2位 北川 四十二
1位 串橋 伸章

男子
○ディスクダンス競技
3位 鈴木 昭夫
2位 齊藤 佐
1位 青木 和彦
ディスクリフト
3位 山口 幸子
2位 村井 恭二
1位 北川 四十二
ディスクリフト5
3位 山口 幸子
2位 村井 恭二
1位 北川 四十二

▲全日本知的障害者サッカー選手権第6回西日本大会
平成17年11月27日(日)
大阪体育大学クラウンド
1回戦 滋賀5-1三重
2回戦 滋賀0-1鳥根
3位決定戦 滋賀4-0兵庫
優勝 大阪(イリス生野)
準優勝 鳥根(選抜)
3位 滋賀(F.C信楽)
▼第6回滋賀県障害者フライングディスク協会競技大会
平成17年11月27日(日)
県立障害者福祉センター
アキュラシー競技
ディスクリフト5
3位 山口 幸子
2位 村井 恭二
1位 北川 四十二

第43回県大会



コンパウンドボウで競技する参加者(アーチェリー競技・9月4日)

アーチェリー競技

9月4日(日)、県立アーチェリー場(秦荘町)において、県アーチェリー協会・滋賀ヒットアーチェリークラブ等のご協力のもと第43回滋賀県障害者スポーツ大会(アーチェリー競技)を開催致しました。

例年この時期は台風やその影響の雨が多いのですが、今年も前日の天気予報では、高確率で雨が予想されており、会場判断は難しいものとなりました。しかし、昨雨が屋内開催となり30m競技が実施出来なかったこともあり、多少の降雨は覚悟で屋外開催を決定しました。このように天候に不安を抱えての大会となりましたが、当日

は閉会式に雨が振り出すまで競技中に雨が振ることはほとんどなく、結果として好判断であったと思われました。

アーチェリー競技については危険性を考えて、競技未経験者の参加を認めていませんでしたが、参加者減少が続く中、抜本的な対策として、未経験者も出場できるようにと、今回から10m部門については午前中を初心者講習、午後に競技として未経験者の参加を可能としました。また、上級者については全国大会に準じコンパウンドボウ部門を設けるなど、色々な意味で新しい大会となりました。結果として昨年の45名を大きく上回る63名の参加申込があり、思惑が当たった形となりました。

水泳競技

9月18日(日)、県立彦根総合運動場スイミングセンターにて、県水泳連盟・彦根市水泳連盟等の協力のもと、第43回滋賀県障害者スポーツ大会(水泳競技)を開催致しました。

一昨年から大会前の練習機会を考えて、夏休み後の9月開催に変更した水泳大会ですが、3回目となる今回はすっかりこの時期で定着した感がありました。今大会から内部障害者の参加が可能となったことから、参加者の動向が注目されましたが、結果として内部障害者は2名に留まったものの、昨年を若干上回る60名の参加申込があり、中でも今回は身障者部分の増加があったことから、近年減少傾向が強かった身障者が増加に転じた

競技の方では初開催のコンパウンドボウ部門レベルの高さが光り、伊藤博之選手(大津)が六七五点の素晴らしいスコアで優勝を飾ったのははじめ、レベルの高い競技で大会を大いに盛り上げました。

来年度の県大会でも10m競技については初心者教室とあわせて開催しますので、競技経験が全くない方も奮ってご参加頂き、アーチェリーの楽しさを感じて下さい。そして今回10m・20mで参加された方はそれぞれ一つ上のクラスを目指して、頑張ってください。ことを期待しております。

たことは非常に嬉しく思いました。これを機に参加者が本格的な増加傾向になることを期待しております。

水泳大会は参加者こそ例年少ないものの、競技レベルが非常に高く、まさに少数精鋭の大会です。今回は全国大会記録を上回ることはありませんでしたが、それでも、好記録が続出し、結果16の県大会新記録が生まれ、大会を彩りました。

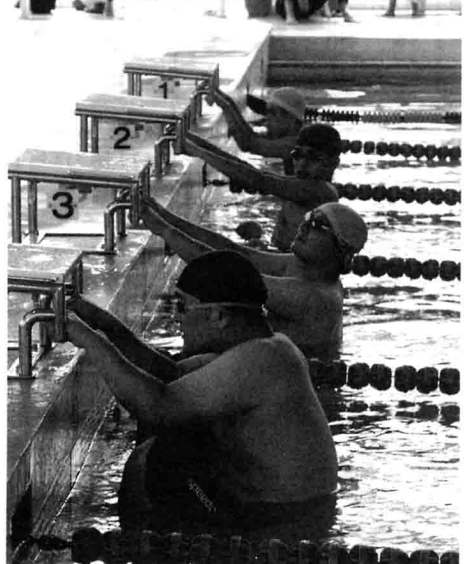
運営面でも、導入当初は手間取ったタッチ板とパソコンを用いた計時作業が円滑に進むようになり、素晴らしい競技を裏で支えていました。更に今大会も締めくくりとして、恒例となったエキジビジョン競技のリレーが行なわれ、大声援の大きな感動の中、大会は幕を下ろしました。

卓球競技

10月16日(日)、草津市総合体育館にて、県卓球協会・地元卓球クラブ等の協力のもと、第43回滋賀県障害者スポーツ大会(卓球競技)を開催致しました。

当日は秋らしい晴天に恵まれ選手たちは汗をかきながらの競技となりましたが、その他の者にとっては快適な一日を過ごすことができました。

背泳ぎのスタート(水泳競技・9月18日)



として行なってまいりましたが、名称から内容が判りにくいとの声があったことから、今回から卓球1を一般クラス、卓球2を競技クラスと名称変更しました。この体制で4回目となり、また内部障害者も参加可能となったため、参加者の動向が注目されましたが、一般クラス(サウインドテーブルテニスを含む)が135名、競技クラスが23名の合計158名の参加申込となり、昨年より微増しましたが、競技クラスの参加者が減っており、当初の目的から考えると少し残念な結果となりました。

競技は今回も競技クラスを中心に非常に盛り上がり、白熱する競技に観客を巻き込んで感動の輪が広がりました。

一方、一般クラスではスポーツの秋を楽しむ目的の参加者も多く、大会の幅の広がりを感じました。また、昼休みには今年度の全国大会出場選手による壮行試合

が行われ、その技を披露するとともに、各選手に全国大会での活躍を期待する声援が送られました。

結果、競技クラスでは男子の部で昨年・一昨年と連覇を果たした大石康雄選手を伊藤博之選手(大津地区)が破り、初の栄冠に輝きました。女子の部ではびわこ卓球クラブ代表の是津裕子選手(草津市)が優勝しました。

地区対抗部門では栗東市が初優勝を果たし、準優勝には昨年に続き大津地区、続く3位には昨年4位の彦根市が入り、市町村合併に伴う新しい地区制度に伴い、入賞地区も新時代の幕を明けた感がありました。

《各地区の成績》

優勝	栗東市	七一点
準優勝	大津地区	六五点
第3位	彦根市	五六点

※4位以下の成績については各市町に通知しておりますのでご確認ください。

協会(会員)大会



グラウンド・ゴルフ選手権大会の1コマ(10月2日)

グラウンド・ゴルフ選手権

10月2日(日)、県立長浜ドームにて、当協会主催第1回グラウンド・ゴルフ選手権大会を開催しました。

当協会では早くからグラウンド・ゴルフ競技の普及に取り組み、障害者対象の大会としては全国に先駆けて大会を開催し、昨年まで19回に渡り大会を開催しました。

各地区で盛んに大会も開かれるようになった現在、競技普及という当初の目的は達成できたとして、これまでの大会を廃止し、参加枠をしぼり、2ラウンド16ホールで争う全く新しい競技性の高い大会として今年から選手権大会を開催することになりました。

から外部記録員が禁止になったことが理解できていないチームもあり、記録員が記録を付けられないチームや、それに伴い片チームの記録員が両チームの記録を付けている場合があり大きな問題となりました。

今回は競技終了後に判明した分を含めて、規則どおり全てが失格となり、誠に遺憾な結果となりましたが、初めての大会で問題点が露見したことは今後の大会発展にとって大きな収穫であったと考えております。

このような中、長浜市Cチームが着実にスコアを伸ばし、同打数の甲賀市Cチームを打数内訳の最小打数の差で下し、初めての栄誉に輝きました。また、第3位には甲賀市Aチームが入り、甲賀市勢の強さが目を引きました。

なお、大会の結果は次のとおりです。

- ▼**団体成績**
- 優勝 長浜市C 一〇七打
- 準優勝 甲賀市C 一〇七打
- 第3位 甲賀市A 一一〇打
- 第4位 彦根市E 一一六打
- 第5位 長浜市E 一一七打
- 栗東市B 一一七打
- ※第4位以下は同打数同順位となります。
- なお、第7位以下の団体成績については各市町に通知しておりますので、ご確認下さい。
- ▼**ホールインワン賞**
- 大津市 辰巳敦彦 / 彦根市 馬場万典 / 小川光洋 / 長浜市 辻照二 / 西川和雄 / 山崎栄一 / 近

ビームライフル競技

11月20日(日)、県立障害者福祉センターにおいて、県ライフル射撃協会の協力のもと当協会主催第8回ビームライフル競技大会を開催致しました。

今回は例年より少ない68名の参加申込がありました。

昨年までの2つの競技種目に加えて、ビームライフル競技専門部会の意見により今回から上肢障害者の部を設けて、3競技種目の大会となりました。

一方、音響誘導(視覚障害)の部では、機械的な精度もあり、高得点は得ることは難しいのですが、これまでのノウハウの蓄積により円滑に準備・運営ができるようになり、これにあわせて一定の得点が安定して出るようになってまいりました。

結果、一般の部では例年どおりBRC(ビームライフルクラブ)滋賀の部員が上位に名を連ね、中村なほみ選手(大津市)が一九一点の好得点で優勝を果たしました。また、今回新設の上肢の部では木村康郎選手が見事初の栄冠を手にし、音響誘導の部では山本藤夫選手(栗東市)が優勝しました。

大会の結果は次の通り。

- ▼**自由姿勢二〇発競技**
- 優勝 中村なほみ(大津市) 一九一点
- 準優勝 竹本和夫(木之本町) 一八六点
- 第3位 藤本 俊治(甲賀市) 一八三三三
- ▼**上肢障害者の自由姿勢二〇発競技**
- 優勝 木村 康郎(長浜市) 一八二点
- 準優勝 境 洋子(大津市) 一六七点
- 第3位 乾澤 正和(大津市) 一五八点
- ▼**音響誘導装置使用自由姿勢二〇発競技**

平成17年度 賛助会員名簿

- 団体会員**
- 滋賀県信用組合
- 関西日本電気株
- 滋賀経済同友会
- 滋賀県商工会議所連合会
- 日清食品(株)滋賀工場
- 琵琶湖リゾートホテル(株)
- パナホーム(株)本社工場
- 高尾金属工業(株)
- NECライティング(株)
- (株)ヒラカワガイダム
- スターライト工業(株)
- いすゞ自動車近畿(株)
- 宮川印刷(株)
- 滋賀義肢製作所
- (株)湖光
- 滋賀トヨベツト(株)
- 滋賀ホンダ販売(株)
- びわこ観光バス(株)
- 鳥津メクテム(株)
- 大日本インキ化学工業(株)滋賀工場
- (株)金業社
- クロウダジャパン(株)
- (株)ファンケル美健滋賀工場
- 個人会員**
- 中岩 達男(大津市)
- 谷田恵美子(東近江市)
- 辻 雅広(栗東市)
- ※大字は新規賛助会員
- ※8月17日~12月9日登録分
- 順不同・敬称略

優勝 山本 藤夫(栗東市) 四三三三
準優勝 坂下 節子(栗東市) 三五五五
※これ以外の成績については、各市町に通知しております。

新規賛助会員について

本協会活動にご理解を賜り、新しく賛助会員にご登録頂いた会員は次のとおりです。

団体会員

- ▽びわこ観光バス(株)
- ▽野洲市小篠原386
- ▽鳥津メクテム(株)
- ▽大津市月輪1-8-1
- ▽大日本イキ化学工業(株)滋賀工場
- ▽湖南市柑子袋373
- ▽(株)金工業社
- ▽草津市野村4-3-10

第43回県大会 地区総合成績

10月16日(日)開催の第43回県大会(卓球競技)の閉会式にあわせ、第43回県大会6競技を通しての地区対抗総合成績の表彰を行いました。

この表彰は各地区で盛んにスポーツに取り組んで頂くためのきっかけとなることを目的として、新しい地区体制となった今大会から導入されたものです。今回、記念すべき第1回目の栄冠には大津地区が輝き、準優勝は東近江地域、第3位には甲賀市が入り、その栄誉を手に入れました。

入賞各地区の皆さんおめでとうございます。今回入賞を逃した地区についても、来年度の栄冠を目指して、積極的に第44回県大会の各競技にご参加頂きますようお願いいたします。

優勝 大津地区 四三七点

- ▽クロージャパン(株)
- ▽東近江市五個荘町吉町377
- ▽(株)ファンケル美健滋賀工場
- ▽蒲生郡日野町大倉東山341-9

個人会員

- ▽辻 雅広(栗東市)
- ※12月9日現在 敬称略 順不同



準優勝	東近江地域	三二五点
第3位	甲賀市	三一一点
第4位	栗東市	三〇一点
第5位	東近江市	二六六點
第6位	長浜市	一八八點
第7位	湖東地域	一八七點
第8位	湖北地域	一七六點
第9位	近江八幡市	一六六點
第10位	草津市	一五七點
第11位	守山市	一四四點
第12位	湖南市	一四三點
第14位	高島市	一四三點
第15位	彦根市	一三〇點
第16位	米原市	九三點
	野洲市	七四點

その他の協会事業実績

【一般会計関係】

- 1 役員会等
- (1) 副会長会
- 第3回
- 平成17年11月29日(火)

- (2) 強化委員会
- 第2回
- 平成17年10月13日(木)
- 第3回
- 平成17年11月29日(火)

- (3) 競技力向上委員会
- 第1回
- 平成17年8月24日(水)
- 第2回
- 平成17年11月17日(木)
- 専門委員会
- 水泳部会
- 平成17年8月16日(火)
- ビームライフル部会
- ①平成17年9月11日(日)
- ②平成17年9月17日(日)

- (4) 県立障害者福祉センター
- 卓球部会
- 平成17年9月21日(水)
- グラウンド・ゴルフ部会
- ②平成17年9月27日(火)
- 陸上部会
- ③平成17年11月24日(木)
- 専門部長会
- 平成17年11月29日(火)
- ポウリング部会
- ②平成17年12月8日(木)
- ②第5回全国障害者スポーツ大会出場選手強化事業
- 第4回
- 平成17年8月28日(日)
- 県立彦根総合運動場他
- 第5回
- 平成17年9月25日(日)
- 第6回
- 平成17年10月30日(日)
- 大津市皇子山総合運動公園 他

- (5) 会報の発行
- 第74号 平成17年8月発行
- 第75号 平成17年12月発行
- 発行部数二六〇〇部
- ※会場名無記入のものはずべて県立スポーツ会館にて開催

- (6) 障害者スポーツ普及振興事業
- 各地区障害者(児)スポーツ大会への祝い金の贈呈
- ①第33回大津市身体障害者更生会スポーツ大会
- ②第26回湖南地域身体障害者(児)スポーツ大会
- ③第20回草津市いきいきふれあい大運動会
- ④平成17年度湖北地区障害者スポーツ大会
- ⑤東近江市身体障害者スポーツ大会
- ⑥彦根市障害者スポーツ大会
- ⑦平成17年度愛知犬上地区障害者スポーツとふれあいのつどい
- ⑧第8回志賀支部スポーツ大会

お知らせ

協会ポウリング大会の参加者募集が始まります。この大会は県大会のポウリング競技と異なり、内部障害者を含む身体障害者にご参加頂けることはもちろん、会員相互の交流を深めるという意味から障害をお持ちで無い指導員、協力員についてもご参加して頂けることになりました。

参加申込期限は1月30日(月)までとなっておりますが、先着順となりますので、希望される場合は早めにお申し込み下さい。

事務局だより

古切手等回収協力者

- 大津市 鈴木 昭夫
- 北村 茂
- 松浦 儀明
- 境 洋子
- 彦根市 北村さよ子
- 守山市 津田 貞子
- 栗東市 青木 和彦
- 高島市 山下 巧
- 安土町 川原崎景一
- 多賀町 山田 次子
- 滋賀県障害者フライングデイ スケ協会
- 滋賀県ビームライフルクラブ
- 大津市障害者スポーツ協会
- 県立障害者福祉センター

編集後記

○年齢を重ねるにつけ、時の流れを速く感じると言いますが、目白押しの協会事業に押し流されながら、今年もあつと言う間に師走となりました。

小生にとって実に短い一年に感じましたが、皆様はどのようにお感じでしょうか。

○県大会全競技とグラウンド・ゴルフ選手権大会、ビームライフル大会も終わり、大きな事業としては3月開催の協会ポウリング大会のみとなりました。

皆様のご協力・ご参加に対してあらためて深くお礼を申し上げます。

○今号の中心記事は11月に岡山県で開催された第5回全国障害者スポーツ大会となりました。

編集する上で大会での華やかな活躍を中心に取上げておりますが、大会出場までの本人の努力はもちろん、選手を支えた家族・地域、また学校・施設などの誌面に載らない地道な取り組みがあつてこそ、このような素晴らしい結果が生まれるという事を忘れずにいたいと考えております。

○来る3月にはイタリア・トリノで冬季パラリンピック競技大会が開催されます。

世界の頂点で戦う選手たちの素晴らしい技に惜しみない声援を送りたいと思いますが、そこに至るまでの道のりを支えた多くの人々にも合わせて大きな拍手を送りたいものです。(A・Y)